

# PREX NOW



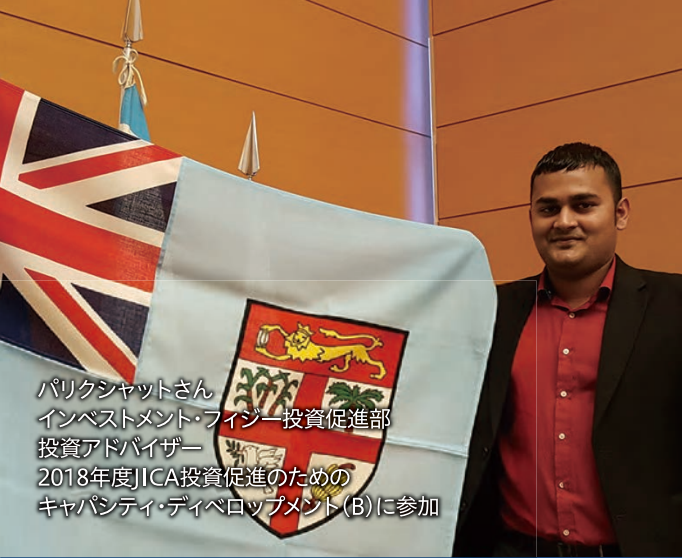
途上国と関西をつなぐ VOL.252

特集:世界の研修員からメッセージ&  
PREXスタッフ こんな研修担当しました!



アケマシテ  
オメデトウ  
ゴザイマス

2019 MESSAGE FROM THE WORLD!



パルクシャットさん  
 インベストメント・フィジー投資促進部  
 投資アドバイザー  
 2018年度JICA投資促進のための  
 キャンパニティ・ディベロップメント(B)に参加

# Naya Saal Mubarak

(新年おめでとう!) ※フィジー・ヒンディー語

美しい島国のフィジーから日本の皆さんへ。こんにちは！研修に参加し、日本から学ぶことができたことは、どの国の研修員にとっても、とても大切なことだったと思います。私は日本人の態度や献身的な姿勢に好感を持ちました。本当にほとんどの人が遅刻をしません。お互いに尊敬しあう場面もよく見かけ、心に残っています。日本は、あらゆる環境が整えられている国でした！

# Pyaw Shwin Sayar Hnit Thit Phit Par Sae

(新年おめでとう!) ※ミャンマー語

ミンガラーパー (Mingalarpar)！こんにちは。日本を訪問し、中小企業の持つ技術力と経営の力に感銘を受けました！国や地域の中小企業への支援も整っており、ネットワークとコラボレーションシステムが非常に強力であることに驚きました。経済の基礎は、世界に向けて競争力のある品質の高い製品を製造することだと分かりました。一方で、人口の減少や中小企業の後継者不足などの課題があるという現状も知りました。たくさんの学びを得てJICAとPREXに感謝しています。



ソーさん  
 ミャンマー産業省 産業監督局 中小企業開発部  
 2018年度JICA中小企業振興のための経営強化・金融支援(A)に参加



チンギスさん  
 旅行会社経営者  
 2017年度  
 JICAキルギス企業経営者  
 上級研修に参加

# Жаңы Жылңыздар менен!

(新年おめでとう!) ※キルギス語

日本では、経営者に会い、企業経営に関する彼らのノウハウについて聞いたことが一番の学びでした。マーケティング、人材育成、危機管理など、様々な分野について見聞きました。経営者、経営幹部の方々は、会社を成長させた経営戦略や手法について、本当にオープンに話してくれました。これは現在の私のビジネスにもとても役に立っています。PREXには、日本の経営について学ぶ機会を与えていただいたことに大変感謝しています。キルギスに帰り、何がビジネス成長の鍵なのか、研修で学んだ知識をどのように活かしていくかを考えながら実践しているところです。

# Ezi Afo Ohuru !

(新年おめでとう!) ※イボ語

ナイジェリアのエゼです。私は日本が大好きです。研修に参加できたことに、永遠に感謝したいと思います。コースリーダーの武庫川女子大学の平井拓己先生のご指導は、とてもすばしかったです。研修を通して企業の顧客満足に対する考え方や中小企業支援と振興についての理解を深めることができました。帰国後は、ナイジェリアのラゴス国際見本市(2018年10月2日~12日開催)のジャパンオープンデーで、「日本の中小企業金融支援と経営支援」について発表しました!



エゼさん ラゴス商工会議所  
中小企業グループ  
貿易グループマネジメントオフィサー  
2018年度JICA中小企業振興のための  
経営強化・金融支援(B)に参加



アルンさん  
ソーシャルビジネスベンチャー共同創設者  
2018年度関経連アセアン経営研修に参加

## एक नया साल मुबारक हो

(新年おめでとう!) ※ヒンディー語

インドのアルンです。

日本ではいくつもの企業を訪問しましたが、すべての企業がそれぞれ特長を持っていました。その中でも、パナソニックミュージアムへの訪問では、大きな成功を収めている企業の歴史を通じて、その"魂(soul)"を学ぶことができました。私が最も感銘を受けたのは、パナソニックの「企業は社会のために存在し、困難があるときこそ、より企業は社会に貢献をすべき」という経営の哲学と、その哲学が今なお受け継がれていることです。私も含めてこの研修に参加したみんなが、インスピレーションを受け、活気づき、啓発され、そして謙虚さを得たと思います。日本でのすべての経験に感謝しています。

## Heri Za mwaka mpya!

(新年おめでとう!) ※スワヒリ語

日本はとても美しい国でした。参加者を代表してケニアから御礼を述べたいと思います。PREX、日本の皆さん、アサンテ サナ(ありがとうございます)。日本で楽しかったエピソードは、休日に観光に行った際のことです。駅のホームでどの電車に乗ればいいのか分からず、迷ってしまいました。若い男性に尋ねたところ、彼の乗る電車はもうホームに到着していたのに、ホームの階段を下り、私たちの乗る電車まで案内をしてくれただけでなく、地図を持ってきてくれ、さらにICOCAにチャージしてくれました。20分近く、私たちに費やしてくれた彼は、日本で出会った最も親切な人でした!もう一度、アサンテ サナ!



カロさん  
ケニア投資局 投資促進部 投資促進官  
2018年度JICA投資促進のためのキャパシティ・  
ディベロップメント(B)に参加



# マレーシアの皆さんは、 底抜けに明るくて パワフルでした。

このマレーシアの行政官向けの研修は、私がPREXに出向して担当した9件目の研修です。毎回、「関西のファンづくり！」という思いで様々な国から参加される研修員と交流していますが、マレーシアの皆さんは底抜けに明るく、こちらのほうがパワーをもらう研修でした。日本人ならそんなに笑うか・・・というところで、どっかん、どっかん笑いが起き、感心する場面もありました。

研修期間は、4週間。マレーシアの中央政府や地方の行政機関から選ばれた20人が参加。彼らは、この研修で、日ごろの職務の中で抱えている組織管理やリーダーシップ、コミュニケーションスキルなどの課題を解決したいと考えています。

20名のうち、12名が女性で、パワーのある熱心な女性ばかりでした。マレーシアは、女性が活躍する国であることがうかがえます。中には子育て中の方もいました。

今回は、マッセ大阪の協力を得て、関西の自治体の皆さんと研修員が「女性の働きやすい職場」等をテーマに双方の現状や働き方を意見交換する場面も設定することができました。研修員にとっては、日本の行政機関の職員の声や、直接聞けることが、特に参考になるようです。関西の自治体の皆さんにとっても、マレーシアの元気な行政官との交流は、きっと刺激になったと考えています。

(PREX 国際交流部 中谷)

※1981年から2015年まで毎年継続されてきた歴史ある研修。マレーシア政府からも高い評価を得ており、2017年にマレーシア側からの要望で再開しました。ルックイースト政策の見直し(LEP2.0)に伴い、日本に期待される分野は、高次の経済協力に移行しています。従来の研修は、労働倫理・経営能力・勤労意欲等モラル面を重視していましたが、現在の研修は、成長産業や先端技術分野における高度人材の育成、技術協力をめざしています。

## ～JICAマレーシア行政初級職向け研修～

- ★日程 2018年10月10日～11月6日
- ★参加者 マレーシア初級職行政官20名
- ★コースリーダー 近畿大学 中谷 常二 教授
- ★内容
  - ①講義：組織管理、リーダーシップ、日本経済、コミュニケーションスキル
  - ②視察、見学
    - 【行政】
      - 人事院 ●大阪府 ●自治大学校
    - 【企業経営】
      - パナソニックミュージアム
      - ダイキン工業 ●ゼロ精工
    - 【IT】●内閣官房(IT総合戦略室)
    - 経団連
  - (Society5.0実現に向けた日本産業界の取組)
  - 【防災】●神戸土木事務所 ●関西情報センター
  - 【環境】●京エコロジーセンター
  - ③演習、課題設定、ケーススタディ、グループ討議等





# ニッポンは、 中小企業にとって パラダイスです！

研修では、国レベル、地方レベルの中小企業支援の事例を数多く見てもらいます。私自身、新たに知る支援策も多く、例えば、ドラマ「下町ロケット」を見ていても、主人公の会社が苦境に立たされていると、支援機関に行ってみたらいいのにな、と思うようになりました。研修参加者からは、「日本の中小企業の人は、こんなに支援機関や支援策があり、恵まれている。日本は、中小企業にとってパラダイスだ」という声を聞きました。一方で、支援の情報を中小企業にいかにつけてもらい、活用してもらえるかということは、日本でも研修員の国でも、共通の課題のようです。

研修員が、日本での研修を活かして、自国にあう中小企業支援を展開していただけるよう願っています。

(PREX 国際交流部 山内)

※日本では、中小企業が全企業数の99.7%を占め、他国に先駆けて100年以上前から政府による支援政策が行われています。その特徴として、政策・施策を通じてきめ細かい経営指導と人材育成のための指導を積極的に推進した点が挙げられます。途上国では、中小企業の振興が、重点取組政策となっており、この分野の研修はPREXでも毎年4件程、実施しています。



研修では、支援策を活用する立場にある企業も訪問しており、経営者から「日本の支援制度は整っているかもしれないが、例えば、補助金を申請したいけど、書類が難しく、申請できない。支援機関に聞いても、理解できないこともある。皆さんは国に帰って、相手の立場に立って優しく対応するようにしてほしい」といった生の声を聞かせてもらうこともあります。

## ～JICA中小企業振興のための経営強化・金融支援(B)～

- ★日程 2018年8月28日～9月28日
- ★参加者 中小企業振興に携わる中央省庁、地方自治体、商工会議所等の公的支援機関等の職員8名
- ★参加国 コンゴ民主共和国、ガーナ、マラウイ、ナイジェリア、スーダン、タンザニア、トルクメニスタン、ザンビア

★コースリーダー  
武庫川女子大学 平井 拓己 先生

### ★内容

①講義：国、地方自治体の中小企業政策、施策概要、経営強化・金融支援概要

### ②視察、見学

滋賀県を中心に支援機関と企業を訪問

- 滋賀県商工観光労働部
- 滋賀県工業技術総合センター
- 滋賀県産業支援プラザ
- 滋賀県信用保証協会
- 甲賀市商工会（信楽支部）
- 滋賀県中小企業団体中央会
- 滋賀銀行 ●尼崎信用金庫
- ナージングクリエイト ●茶菓山川
- 丸瀧製陶 ●壺文製陶
- コウベ・プレシラス・パール
- 大阪工作所

③討議、行動計画案発表

# 関心が高いのは 日本の企業、支援機関、 行政の連携やネットワークの構築。



日本の各地域では、地域産業の活力の減退や伝統産業の衰退などの課題を解決するために、特色を活かした取組をしています。これらを産業振興を図る途上国の方の参考にしてもらおうというのが、この研修のねらいです。

研修の中では、各自治体の企業への支援メニューや産官学連携、地域内のネットワーキング、6次産業化など産業振興に関する、さまざまなアプローチを紹介しました。

特に研修参加者の関心が高かったのは、日本の企業、産官学の支援機関の連携やネットワークの構築でした。今回、農業を主要産業とする国の研修員が多く、農業分野での産官学連携は大変参考になったようです。

写真は、繊維や金属・木材・漆器・皮革等の福井の伝統産業の技術を融合した高級洋傘をつくる福井洋傘を訪問した研修員です。

(PREX 国際交流部 横山)

※この研修は、PREXがJICA北陸センターから受託している研修です。石川県、富山県、福井県の行政機関、大学、企業への訪問が中心となっていますが、加えて、今年は千葉県山武市、大阪豊中市の支援機関や企業も紹介しました。各国各地域の研修員が、日本の地方における地域の特色を活かした産業振興の事例を参考に各国の現状に応じた産業振興施策を検討し、実施することができるようになることをめざしています。



## ～JICA地域の特色を活かした産業振興～

- ★日程 2018年7月9日～8月3日
- ★参加者 産業振興に携わる政府機関、商工会議所等の公的支援機関等の職員 8名
- ★委託元機関 JICA北陸センター
- ★参加国 アフガニスタン、アルバニア、コソボ、ドミニカ共和国、ブータン、マケドニア、東ティモール
- ★コースリーダー JICA専門員 舟橋 学氏
- ★主な訪問先
  - 【東京、千葉】
    - JICA本部 ●中小機構
    - 拓殖大学 ●山武市 ●大高醤油
  - 【石川】
    - 北陸経済研究所
    - 石川県商工労働部
    - 石川県産業創出支援機構
    - 石川県デザインセンター ●ヤマト醤油味噌
    - 自遊花人 ●soil
    - 石川県立大学 ●ワクワク手作りファーム川北
  - 【富山】 ●JAアグリひみ
  - 【福井】
    - 福井県産業労働部
    - 福井県立大学 ●カワイローラ
    - 越前市役所 ●武生特殊鋼材
    - 福井洋傘 ●タケフナイフブレッジ
    - 福井県立恐竜博物館
  - 【大阪、神戸】
    - 豊中商工会議所 ●鯖や

# 投資を 呼び込むための 戦略とは。



この研修は、自国に投資を呼び込む仕事をしている行政官が参加し、そのための戦略を立てられるようになることを目的としています。研修では、グローバルな世界の中で、自国の強みや弱みは何かを踏まえて呼び込みたい産業を選び、その産業全体のバリューチェーンはどうなっているのかを考え、戦略を立てていきます。企業訪問を通して、産業構造を理解したり、各企業の海外展開戦略を伺ったりするとともに、研修員同士のディスカッションや投資機関への訪問などによって、どのような環境、制度を整えるべきかについても検討します。

企業訪問に行くと、素晴らしい企業ばかりですので、自国に来てほしい!という思いが強く、その海外展開戦略に熱心に耳を傾けています。週末には「ふりかえり」を行い、研修員同士が学びを共有します。この過程によって研修員はポイントを掴むと共に、お互いの意見を聞きながら自国に当てはめながら考えることができているようです。

コースリーダーの後藤先生ファシリテートと研修員との厚い信頼関係のおかげで、いつも活発なディスカッションが行われています。良い投資、悪い投資についても考えます。また、日本の文化、生活、日本企業の特徴などについても、実際に日本で約1カ月過ごす中で理解が深まっていくようです。それぞれの国に合った投資を呼び込み、発展につなげていってほしいと思います。

(PREX 国際交流部 小林)



## ～JICA投資促進のための キャパシティ・ディベロップメント(A)～

- ★日程 2018年6月8日～7月6日
- ★参加者 投資促進に携わる政府機関、公的機関職員 6名
- ★参加国 インドネシア、イラン、エジプト、ブラジル、エクアドル、キューバ
- ★コースリーダー 関西大学 後藤 健太 教授
- ★内容
  - ①グローバル経済下における直接投資(FDI)について知る
  - ②企業の海外展開戦略や産業構造を学ぶ:
    - トヨタ自動車
    - 青山製作所
    - 阪急阪神エクスプレス
    - バイエル薬品
    - Dari K など
  - ③投資に関わる政策、投資機関としての役割を知る:
    - JETRO
    - マレーシア投資開発庁(MIDA)
    - UNIDO
    - 神戸市 など
  - ④自国へ投資を呼び込む戦略を立てる (アクションプランの作成)

# NEWS & TOPICS

## 事務局のひとこと

2025年の万博開催都市が大阪に決まり、エジプト、キルギス、バングラデシュ、マラウイ、ホンジュラス…各国の同窓生から、PREXにお祝いメッセージが届きました。このニュースを見て、日本やPREXのことを懐かしく思い浮かべてくれる方が世界中にいることを、とても嬉しく思いました。6年後、多くの帰国研修員が大阪を訪れてくれることを願っています。

## モンゴル企業とのビジネスに関心のある皆さんへ

「JICA日本センタービジネス実務研修(モンゴル)」で、9月10日、モンゴル企業に関心のある日本企業の皆さんを対象にモンゴルビジネスセミナー&企業マッチングを行いました。その中から飲食店用暖房機器とカシミア製品の製造販売の会社を紹介します。



**企業名: Chiglel Co., Ltd**  
**参加者名: ツェグメド・ボムツェンド氏**

社歴28年。スープ製造機やフライヤーなどを含む、飲食店用暖房機器全般を扱っています。モンゴルでは同業他社は存在せず、28年間独占的に販売しているそうです。日本で販売されている同様の商品が、3分の1~5分の1の価格で手に入るかもしれません…。

HP: [www.chiglel.mn](http://www.chiglel.mn)



**企業名: Goyo LLC**  
**参加者名: ガルバドラフ・ゲレルマー氏**

モンゴルで2番目に大きいカシミア製品の会社です。昨年、デザイン面で最大手企業よりも高い評価を得て、スペイン生まれのブランド“Sybilla(シピラ)”ともコラボレーション! デザイン性の高い商品を製造販売しています。

HP: [www.goyo-cashmere.com](http://www.goyo-cashmere.com)

※モンゴル日本センターのウェブサイトで、モンゴルでのビジネスに役立つ情報を随時発信しています! 関心のある方は、是非ご覧ください。  
<https://mongol-japan-center.tumblr.com/>

## スリランカのPREX帰国研修員、大阪商工会議所ビジネスセミナーで講演。



スリランカ投資庁・事務局長プラサンジット・ウィジェティラカ氏が、11月5日、スリランカでのビジネス機会について講演しました。同国はインド、パキスタン、シンガポールとの自由貿易協定(FTA)を締結しており、現在、中国との間でもFTA締結交渉を進めています。プラサンジット氏をはじめ、投資庁の事務局やJICA投資促進アドバイザーなど日本企業誘致チームが同国への進出をサポートしてくれます。プラサンジット氏は、JICA「2016年度投資促進のためのキャパシティディベロップメント研修(A)」に参加。大商でのセミナーでは、研修で学んだことを活かして発表してくれていました。(PREX奥村)



## ナイジェリアのPREX帰国研修員、日本での学びを報告



PREX帰国研修員のナイジェリア輸出促進局のジョイ・イグウェ・イトド氏が、8月29日、ナイジェリアで開催されたイベントで日本で学んだことを報告しました。ジョイ氏は、JICA「2018年度先進国市場を対象にした輸出振興/マーケティング戦略(A)」に参加。自国の「ごま」の6次産業化をめざして、積極的に活動しています。

## 外国人社員の人材育成情報

### ★PREXベトナム人リーダー育成研修2019

日本企業で働くベトナム人社員が、現地拠点の運営管理や、現場のリーダーとしての役割を担えるよう、外国人社員には理解しにくい日本企業の経営の根底にある考え方について学べる研修です。

対象: 企業のベトナム拠点等の管理者、  
管理者候補のベトナム社員

使用言語: ベトナム語

日程: 2019年9月3日~27日のうち10日間

会場: PREX会議室ほか

詳しくはPREXのホームページをご覧ください。

問い合わせ先: 瀬戸口、小林

### ★AOTS関西研修センターからのご案内

AOTS関西研修センターでは、外国人社員向けの日本語研修を開講します。

1. ビジネス日本語(土曜AM)中級者向け  
日程: 1/19~3/23

2. ビギナーズ日本語(平日毎日)初級者向け  
日程: 1/16~2/26 or 2/15~3/28

詳しくはAOTSのホームページもしくは下記まで。

問い合わせ先: 杉山 TEL: 03-3888-8250

E-mail: [thank.jltc-be@aots.jp](mailto:thank.jltc-be@aots.jp)



PREX NOW第252号(2019年1月発行)

編集・発行: 公益財団法人 太平洋人材交流センター

専務理事・事務局長: 岡本 謙

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-2-6

大阪国際交流センター2階 TEL.06-6779-2850

ホームページ: <http://www.prex-hrd.or.jp>

E-mail: [prexhrd-pr@prex-hrd.or.jp](mailto:prexhrd-pr@prex-hrd.or.jp)

企画制作: ユナイテッド・トゥモロー